

# 大塚啓子

ソプラノ・リサイタル 2014

小柳美奈子 ピアノ

## 慕情

12月26日(金)

Melody Line (ザ・プリンス・パークタワー東京内)

Open 19:00 / Start 19:45

Charge ¥4,500- (Drink Free)

### ～Part I～

- ・初恋 (石川啄木 詩/越谷達之助 曲)
- ・しぐれに寄する抒情 (佐藤春夫 詩/平井康三郎 曲)
- ・しぐれに寄する抒情 (佐藤春夫 詩/團 伊玖磨 曲)
- ・ヴェリアの歌～オペレッタ『メリー・ウイダー』より (堀内敬三 訳詩/レハール 曲)
- ・アデーレのアリア～オペレッタ『こうもり』より (ヨハン・シュトラウスII 曲)

### ～Part II～

- ・唯一度だけ～映画『会議は踊る』主題歌 (R.Gilbert/W.Heyman 谷 秀夫 訳) 編曲:小林由希絵
- ・燃える秋～映画『燃える秋』主題歌 (五木寛之 詩/武満 徹 曲)
- ・慕情～映画『慕情』主題歌 (Paul Francis Webster/Sammy Fain) 編曲:加藤まさり
- ・パリの空の下～映画『パリの空の下セーヌは流れる』主題歌 (Hubert Giraud 菊村紀彦 訳詩) 歌詞:大塚啓子
- ・幸せを運ぶ鳥 (水野汀子 詩/Jean-Piere Calvet) 編曲:Y.Kobayashi

## 「プログラム」

都合により  
変更する場合がございます。

《ご予約・お問合せ》

(株)フロレスタン 03-6457-4695 info@florestan.co.jp

Melody Line 03-5400-1153 (直通) http://www.princehotels.co.jp/

# ～PROFILE～



## 大塚啓子/Keiko Otsuka (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。中澤桂氏に師事。二期会を経て、2000年から、フリートークの面白楽しいリサイタルをスタート。会場が香で満たされると評される日本の歌は自身のライフワークである。2005年、日本歌曲CD『昼の幻、夜の夢～日本を歌う』（ディスク・クラシカ・ジャパン）をリリース。「甘やかな抒情的な声、…モネの水彩画の淡さ、マチスのモダンな明るさ、日本画を思わせる深い色彩を味わい楽しめる貴重なアルバム」（中澤桂～プログラムノートより）。2009年、世界の愛唱歌アルバム『まあいよこび』（フロレスタン）をリリース。演奏評～「そのクリスタル・ヴォイス、透明な声が魅力的。クリアな発音で日本のコトバを十全に伝えきっているのが何とも清々しい。《ばらの花に心をこめて》は傑出した名唱」「陰翳を帯び深いしづみを持つ声には（歌の国）を全ての人とともにという真摯な願いがこもっている。《ローレライ》の懐かしい吟遊詩人的な古風な語り、《わが母の教え給いし歌》の母の胸の匂い、あたたかみは掛け替えのないものに映る」（レコード芸術 2009年11月号）。セカンドアルバム

の表題「まあいよこび」は大塚啓子のオリジナル曲。2004年、ミャンマー（ヤンゴン）で『日本叙情歌リサイタル』を開催、訪問先のシュエダゴンパゴダ（寺院）でインスピレーションを得て作詞作曲。ラジオ、新聞、雑誌などで紹介されたこの歌は、コンサートシンガー大塚啓子の演奏活動の根幹となっている。2011年、プッチーニ・フェスティバル（イタリア）にて『マダム・バタフライ』（芸術総監督岡村喬生）に出演。その模様はオペラドキュメンタリー映画『プッチーニに挑む～岡村喬生のオペラ人生』となり現在全国公開中。2014年DVD発売。

よみうりカルチャー横浜（045-465-2010） / （株）カルチャー横須賀（046-828-5911）各講師。



## 小柳美奈子/Minako Koyanagi (ピアノ)

伴奏のイメージを変えてしまう、アンサンブル・ピアニスト。さまざまなプレイヤーの呼吸の機微を読み取り、それに寄り添うしなやかな感性を数多くのリサイタル、レコーディングで発揮している。国内での活動はもとより、吉松隆<サイバーバード協奏曲>の準ソリストとして、フィルハーモニア管弦楽団（イギリス）との共演、Universidad Europea Saxofon（スペイン）及び第2回若いソリストのための国際サクソフォン・コンクールでの公式伴奏者をつとめたほか、アメリカ、メキシコ、トルコなど海外での演奏は、はいずれも注目を集め、高い評価を集めた。須川展也氏をはじめとした共演でのレコーディングでは十数枚を超える一方、ソロCDには「夢の動物園」1,2、そして2005年12月にパーカッションの山口多嘉子氏とのデュオ・ユニット「パ・ドウ・シャ」のデビューアルバム『チェシャねこ風パルティータ』をリリース。その中でも、2003年1月に発売された須川氏の3枚組アルバム「Exhibition of Saxophone」に於ける、須川氏との絶妙なコンビネーションは、演奏評において

「それにしてもこのピアニストは凄い」「万全の共演ぶりがアルバムの値打を高める」（レコード芸術 2003年3月号）などの大絶賛を浴びる。インスピレーションを喚起する好サポートが、国内外を問わず屈指のプレイヤーや評論家たちの間で、好評を博している。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。ピアノを安川加寿子、梅谷進、秦はるひ、今井正代、長谷川玲子、本村久子の各氏に師事。